

2021年3月

## 「銀座・星野富弘花の詩画展 2021」開催のお知らせ

謹啓 貴社ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、銀座教文館にて「銀座・星野富弘花の詩画展 2021」を開催いたします。本展は星野富弘の著書「愛、深き淵より。」発刊 40 周年を記念して昨年 4 月に開催を企画しておりました。しかし、コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を断念いたしました。あれから一年が経ち、私達をとりまく環境はまだ元に戻っていませんが、こんな時だからこそ星野富弘さんが描くやさしさにあふれた作品をご覧いただき、心いやされる一時をお過ごしいただければと願ひ再び関係各社が集結し開催することといたしました。

つきましては、告知等でご協力いただきたくお願い申し上げます。

謹白

銀座星野富弘花の詩画展 2021 を開く会

## ごあいさつ

本展覧会は、群馬県みどり市「富弘美術館」開館 30 周年を記念して昨年 4 月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず延期となった経緯があります。今も感染症は収束していませんが、人と人の関わりが希薄になり心身ともに疲弊している時だからこそ、星野さんの作品に触れて欲しいとの思いで開催に至りました。来場の皆様、また全スタッフの安全・安心のため、感染防止対策をとっていますので、ご不便をおかけすることがあるかと思いますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

中学校の教師であった星野富弘さんは 24 歳の時、クラブ活動の指導中に事故に遭い、頸髄を損傷し、手足の自由を失いました。苦闘の入院生活の中で、口に筆をくわえて絵や言葉を書き始めることで、少しずつ生きる望みを見出しました。そんな星野さんの作品は私たちの心にやさしく寄り添い、明るい希望に満たしてくれます。

一輪の花に込められた星野さんの世界に触れ、心安らぐひと時をお過ごしただけでしたら幸いです。

銀座・星野富弘花の詩画展 2021 を開く会  
渡部 満 株式会社教文館代表取締役社長

### 【開催概要】

展示会名 銀座・星野富弘花の詩画展 2021

作品点数 60 点

会場 銀座教文館 9 階 ウェンライトホール

〈第 2 会場〉 3 階 ギャラリーステラ

〒104-0061 東京都中央区銀座 4-5-1

開催期間 2021 年 5 月 8 日（土）～5 月 24 日（月）

開催時間 11:00～19:00（入場は 18:30 まで）

入場料 一般 600 円 小中学生無料（ギャラリーステラは無料）

昨年、新型コロナウイルスにより開催を中止いたしました「銀座・星野富弘花の詩画展 2020」の割引券、招待券をお持ちの方はそのまま本展でご利用いただけます

主催 銀座・星野富弘花の詩画展 2021 を開く会

協賛 山崎製パン株式会社

新型コロナウイルスの感染状況によりやむを得ず開催の中止または変更の場合があります

## 【星野富弘 プロフィール】

- 1946年 群馬県勢多郡東村に生まれる
- 1970年 群馬大学教育学部卒業  
中学校の教諭になるがクラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。  
群大病院に入院
- 1972年 入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める
- 1974年 病室でキリスト教の洗礼を受ける
- 1979年 前橋で最初の作品展。群大病院退院
- 1981年 結婚。自宅で雑誌や新聞に詩画作品や、  
エッセイの連載を始める。全国各地で「花の詩画展」
- 1991年 群馬県勢多郡東村に村立（現、みどり市立）富弘美術館開館
- 1994年 ニューヨークで「花の詩画展」以後ホノルル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、  
ワルシャワなど海外でも開催
- 2006年 群馬県名誉県民の称号を授与される
- 2010年 富弘美術館入館者 600 万人を超える
- 2011年 群馬大学特別栄誉賞受賞
- 2014年 富弘美術館入館者 650 万人
- 2021年 富弘美術館開館 30 周年

詩画や随筆は教科書にも掲載され、詩は作曲されて、多くの人に歌われている  
現在も詩画や随筆の創作を続けながら、全国で「花の詩画展」を開いている

◆他に必要な素材がございましたら担当までお電話ください。

運営事務局 担当：こざき

TEL 080-1220-1465